

特集

大田原市教育支援センター



ご相談ください

平成 29 年 4 月に大田原市教育支援センターを開設しました。

小学校や中学校などにおける不登校やいじめなどさまざまな教育上の問題への対応を行います。また、学習や学校生活での悩みを持つ子どもやその保護者への支援を行います。

お子さんが「イライラしている」「学校に行きにくい」「落ち着きがない」「友達とうまく関われない」などお気づきの点がありましたら、お気軽にご相談ください。

【教育支援センター 概要】

- 相談時間…月曜～金曜（祝日を除く）
午前8時30分～午後5時15分
- 相談方法…電話相談（電話による相談）、面接相談（来所いただいたの相談）
※相談は無料です。
- 相談対象…市内のお子さんやその保護者
- スタッフ…教育相談を担当するスタッフは臨床心理士や社会福祉士、特別支援教育などの専門の相談員です。
- 場所…大田原市美原1 - 17 - 14 大志館すばる内
- 問い合わせ…0287 (22) 5884



教育支援センター 外観



■大田原市教育支援センターの目的

現在、学校や保護者からの児童生徒に関する相談や子育ての相談が年々増加傾向にあります。特に、不登校や発達障害などでお悩みの保護者が多く、中にはカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが継続的に関わる事例もあります。そこで、子育てや子どもの学校生活などに関する総合的な相談窓口の開設が必要になってきています。

学校や行政、医療機関など、さまざまな関係機関と連携しながら、課題解決の糸口を見つげるために、市として組織や事業を見直し、指導・支援・相談を組織的・協働的に対応できる体制を整え、市民の期待に応えたいと考えました。

さまざまな相談を、この窓口で受け止め（ワンストップ）、相談内容に応じて支援方法を組織的に検討できるようにしました。経験豊富な元教員や、専門的な知識を有する臨床心理士、社会福祉士をセンター職員として採用し、相談業務を推進しています。



☆ 大田原市教育支援センターとは

学校



校内体制づくり

関係機関



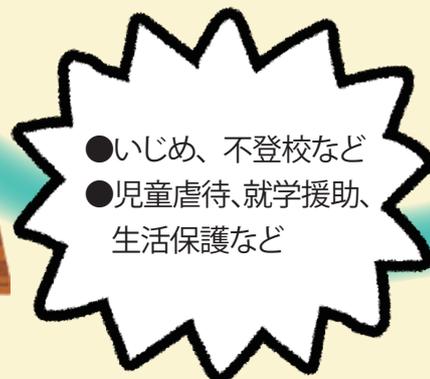
関係機関との調整



スクールカウンセラーが専門的知識から支援したり、スクールソーシャルワーカーが、児童生徒が置かれた環境への働きかけを行います。



児童生徒



家庭、地域

■教育支援相談員

教員経験者…特別支援教育に関し、識見を有する専門家です。

スクールソーシャルワーカー（SSW）…環境（学校、家庭、関係機関など）に働きかけて支援する専門家です。

スクールカウンセラー（SC）…臨床心理に関する知識・経験を持つ専門家です。

適応指導教室『すばる』とは

大田原市教育支援センターと同じ施設内にあります。

- 学校へ行きたいけれど行けない
- 登校しようとする、体の調子が悪くなってしまう
- 心配事や悩みがあって、学校へ行けない

でも、このままじゃいけない!なんとか歩み出したい!と
思っているあなたへ、いっしょに考えたり、活動したり、勉強したりして
みませんか!?

『すばる』では、午前中は基本的に学習の時間です。午後は農園作業や奉仕作業、スポーツ活動などの
体験活動を行っています。

●すばるに通うには?

本人と保護者でよく話し合い、学校の先生にご相談ください。



インタビュー

大田原市教育支援センターは、家族も含む子どものためにあると考えています。困ったときには、何でもご連絡・ご相談いただければ、きっと道が開けると思います。学校では相談しにくいと思っているお子さんや保護者の方もいるかもしれません。そんな時は、ぜひこのセンターやすばるに顔を出してほしいと思います。

教育支援相談員は、それぞれの専門性を生かし適切なアドバイスを行っています。また、何より相談者の立場に寄り添うことを大切にしています。温かな話しやすい雰囲気の中で相談にのっています。

原則、義務教育（小学生・中学生）を支援対象としています。学校や友人関係など困っていることがあれば、ぜひご連絡ください。



大田原市教育支援センター
所長 笠井 正佳 さん



教育支援相談員
(スクールソーシャルワーカー)
手塚 有里恵 さん

まずは、どんな事でもご相談に来ていただきたいです。それが支援の第一歩になるので、お子様や家庭の困りごとの大小に関わらず、話をするだけでも来てほしいです。一番は子どもが幸せになれるように保護者や子どもに寄り添って、会えば元気になれるような相談員を目指していきます。スクールソーシャルワーカー(SSW)は、子どもをとりまく環境を調整し、福祉的な視点から働きかけることで『家から少し出てみようかな』『悩みを打ち明けてみようかな』と思えるように応援したり、子どもや家庭を支えたりすることで、子どもが幸せに暮らせるようお手伝いをしています。子どもが元気になった後も『今どうしているかな』と成長を見守ることで、長く寄り添っていききたいと思っています。